

県政協議会

令和二年一月二十一日(火)

午前十時三十分

- 一、台湾からのチャーター便誘致に向けた取組について
- 二、その他

台湾からのチャーター便誘致に向けた取組について

令和2年1月21日

観光文化スポーツ部

定期チャーター便を運航していた遠東航空が、昨年12月13日以降の秋田便を含むすべての路線の運航を停止したことを受けて、他の航空会社及び大手旅行会社に対し、チャーター便運航及び台湾からの送客を要請するため、堀井副知事が台湾を訪問した。

1 訪問の概要

(1) 日程

令和元年12月23日から25日まで

(2) 訪問先

- ・航空会社2社 エバー航空及びタイガーエア台湾
- ・大手旅行会社3社 ライオン 雄獅旅行社、康福旅行社及び大栄国際旅行社
- ・台湾旅遊交流協会 賴理事長（秋田県観光物産交流特別顧問）

2 要請等の内容

(1) 航空会社

- ・今後の秋田空港へのチャーター便の運航を要請したほか、将来の定期便運航の可能性について意見交換を行った。
- ・両社からは、チャーター便の運航について、航空会社はもとより商品造成を行う旅行会社に対する支援が必要との認識が示され、また、定期便に向けては、インバウンド・アウトバウンド両面での利用促進が重要との意見があった。

(2) 旅行会社

- ・今冬の誘客促進に向けて、県外空港への発着便を利用した旅行商品による本県への送客を要請したほか、秋田空港への直行チャーター便を活用した秋田泊旅行商品の造成を働きかけた。
- ・各社から、商品造成に対する一定の支援を要望する声があったほか、県との共同で秋田をPRすることについての提案があった。

3 今後の対応

チャーター便の誘致については、運航する航空会社はもとより、旅行を企画する現地旅行会社への働きかけも不可欠であることから、引き続き、秋田への旅行商品の造成に対する支援等のインバウンド促進策に取り組むほか、アウトバウンド需要の掘り起こしにも努めるなど、航空会社、旅行会社の双方に対し、イン・アウト両面の需要確保に向けた取組をアピールしながら、チャーター便の運航を強く働きかけていく。